

たくさんの祈りに支えられて、 中学3年生の九州修学旅行が無事終了しました！！

先週の土曜日から今週の火曜日にかけて3泊4日で、九州の長崎と大分に中学3年生の皆さんと共に修学旅行に行ってきました。本来は今年の1月にシンガポールに行く予定でしたが、新型コロナのために行き先を九州に変え4月に延期しました。しかし4月でもコロナは収まらず、11月に再度延期し、13日～16日にかけて、ようやく行ってることができました。4日間天気にも恵まれ、とても充実した楽しい旅行でした。

出発の前日に、横浜在住の1946年3月に遺愛を卒業した92歳の福川幸子さんからお手紙をいただきました。以前にこちらからお手紙を出したときに、11月13日から中3の修学旅行を予定していることを書きましたら、気にかけて下さり、わざわざ旅行前日に届くようにお手紙を書いて下さり、私たちの無事と健康をお祈りしていますとのことでした。福川さんの学年は、戦争前後に唯一修学旅行に行けなかった学年で、とても残念だったそうです。それだけに後輩達には良い思い出をつくってほしいと願っていました。

また、行きの羽田から長崎へ向かう飛行機はJALだったのですが、私たちの座っている所を担当してくれたCAさん（キャビンアテンダント）が、偶然、遺愛の卒業生でした。39回生の松尾志保さんでした。帯広出身の寮生で、英語科に所属していました。今回、久しぶりに後輩の遺愛生に会い、お世話することが楽しみで、全員にキャンデイと黒糖のプレゼントを用意してくれていました。彼女も思い出に残る旅行になることと遺愛生の無事をお祈りしてくれていました。同窓生の祈りに気づかされました。もちろん、出発、到着の時には、たくさんの家族の方々が空港に見送り、出迎えに来てくれました。家族の方々の祈りもありました。また遺愛の教職員の祈りもありました。

それらの多くの方々の祈りにより、神様の守り、支え、恵みが働き、たくさんの素晴らしい思い出を作りながら、無事戻って来られたのだと確信しています。私たちは多くの人から祈られているということに感謝し、自分たちもまた、大切な人をおぼえて神様に祈りたいと思います。 2021年11月19日(金)



長崎ハウステンボス
クリスマスイルミネーション



JALのCAで卒業生の松尾さん



松尾さんのプレゼント